

お知らせ

○校納金のお知らせを配布しています

19日(金)に校納金徴収のお知らせをお子様に配布しています。ご確認のうえ、記載の通りに納入してくださいませようお願い致します。

○登校時でのロータリーでの下車に際して

保護者の皆様の中には、朝夕、お子様の送迎をいただいている方々がいらっしゃる、心より感謝いたしております。そして、朝の登校時のお送りの際には、ロータリーでお子様を降ろしていただいようにしております。ただ、登校時間帯には、次々に車が到着し、ロータリーに列をなす場合があります。その際に、お子様の荷物の受け渡し等で時間がかかってしまうと、後方の方々にご迷惑をかけることにもなりかねません。お子様が降りる際にお時間がかかるようでしたら、駐車場でゆっくりご準備して送り出してくださいませようお願い致します。



感じたことから

○「非認知能力」について

本校では、中学校受験の学校を選択する際の参考になるように、各中学校高等学校の先生方に来ていただき、「学校説明会」を実施しています。そして、本年度も先週の福岡雙葉中学校の説明会をもって、全11校の説明会を終わりました。

さて、その福岡雙葉中学校の説明会の中で、「『非認知能力』を育む指導を行っています」とおっしゃられていました。同様に、この内容に関しては様々な学校で説明がなされてきました。

近年、子どもに身につけさせたい能力としてこの「非認知能力」という言葉が耳にするようになってきています。「非認知能力」があるのなら、「認知能力」もあるわけで、それぞれは次のようにとらえることができます。

- 「認知能力」……IQ や学力といったテストなどで評価している力で、知識・技能、思考力等を含みます。
- 「非認知能力」……点数では評価できない個人の性格や意欲、社会性などを指す能力です。
文部科学省は「非認知能力」を次の3つの要素でとらえ、説明しています。
 - ①【自分の感情と向き合う力】自制心、忍耐力など
 - ②【子どもがやる気になる力】向上心、意欲など
 - ③【相互理解できる力】共感性、コミュニケーション力など

この「非認知能力」は、教育現場だけではなく、ビジネスの世界でも注目されているそうです。

ある研究者の調査では、「非認知能力」を高める教育を受けた子どもは、そうでなかったグループの子どもに比べて、将来の学歴や年収・犯罪率の低下などの社会的成功に関して、明確に好ましい結果が得られたといっています。

また、AI(人工知能)は、これまで人間が担ってきたあらゆる仕事を代替するようになると指摘されています。実際、ChatGPT に代表されるようなAIの活用は広まりつつあり、今後もAI技術は目覚ましいスピードで発展していくことが予想されています。

一方で、AIはデータの分析や予測、画像や音声の作成、言語処理、計算などを得意としていますが、「非認知能力」は現状持ち合わせていません。人間のように自分の感情を自制したり、意欲を高めて物事に取り組んだり、コミュニケーションを取ったりすることはできません。他者と協力し合いながら、物事を成し遂げるといった「非認知能力」を活かした仕事には、人間の力が欠かせないといえるでしょう。AI技術や自動化が進んでいる時代だからこそ、知識や技術だけではなく、変化にうまく対応できる力や、他の人と協力して新しい価値を生み出す力がとても大切になっています。

さて、こうしたことから考えると、これからの社会を担う子ども達を育む学習では、グループでの話し合いや実験、様々な体験を通して、感情をコントロールしたり、コミュニケーションを深めたりする機会を増やし「非認知能力」を育むことができるようにしていくことが大切でしょう。そして、その力は、学習場面に限らず、学校生活全般の中で、また、ご家庭での生活のなかでも高めることができるのかもしれない。

「非認知能力」の育成ということを頭の片隅に置いて、子ども達の学習や生活を見つめ、伸ばしてあげることができればと思います。

